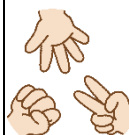
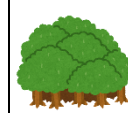




三畳字（品字様・同じ漢字が三つの漢字）








前々回は「畳語」、前回は「畳文」を紹介しました。今回は「畳」シリーズの最終回で、「三畳字」です。3つの同じ漢字から構成される漢字です。

3つの同じ漢字から構成される漢字の中で最も馴染み深い字は「口」が3つの「品」です。このことから、日本ではこの種の漢字は「品字様」と呼ばれていますが、漢字の生まれた中国では「三疊字」と呼ばれているようです。「疊」は、日本の漢字の「畳」の異体字で、畳む、積み重ねる、重複するなどの意味があります。そこで、私が勝手に「三畳字」と名付けました。

人		刀		力		原		厶	
众	【音読み】 ギン、ゴン、シュウ 【訓読み】 おお（い）	刃	リ、レイ、ライ、サク さく、しゅう	劦	キョウ ギョウ リョウ にわか ととのう	原	ゲン みなもと	厶	ルイ サン かべ
人が集まる。人の集団。おおやけ。おおい。数量が大きい。		割く。『州』の代用『州』の異体字		力を合わせる、（協と通じて）かなう、ととのう		原の古字源の同字		土を積み重ねて垣を造る	
又		口		吉		土		女	
𠂇	ジャク ニャク シャク したがう	品	ホン ヒン しな	吉	テツ	垚	ゲウ、ギョウ	姦	ケン、カン かん（する）かしま（しい） みだら
中国の伝説上の木・扶桑（東海にある巨木でそこから日が登るとされた）。若と通じて従うという意味。		人が使用したり消費したりする対象。もの。品物。人としての資質。品格。		「哲」の古字・異体字。言い方ややり方がずばりと切れて、適切であること。賢い人。賢い。		土地が高いさま。山が高い意味もあり。堯（ギョウ、たかい）と通じる		よこしま。道理を犯している。男女間で不義を犯す女三人寄れば姦しい。男三人寄ると謀（たばか）る。	
子		心		手		日		木	
孛	セン、シュウ、ニユウ つつしむ、よわい、みな、ご、みなしご	惢	サ、スイ、ズイ、ニうたがう	手	シュ、パ 	晶	ショウ（シャウ） セイ あき、あきら、ひかり、まさ	森	シン もり 
慎む 懦弱、気弱い（孱と通じて）		あれこれ疑う。いくつか重なった花のしん（惢と同じ）		「手」が3つで、スリ（掏摸・盗み）手スリー＝手すり		きらきらと輝く。原子が規則正しい配置をとった鉱物の形「結晶・水晶」		多くの樹木が密に茂ったさま。	

止		毛		水		泉		火	
止	ジュウ、 シュウ しぶ、しぶ い、しぶる	毛	セイ、ゼイ けば、そり にこげ、 むくげ、 やわ(らか い)	水	ビョウ はるか、 ひろい	泉	シュン、 ジュン、 セン たくさん のいずみ	火	エン ケキ キャク ほのお
渋と同字(異体字) しぶい。なめらかでない さま。舌がなめらかに動 かず、しぶい味がする。		薄く生えた柔らかな 毛。		水を三つ並べて、 水がいっぱい広 がっているさま		泉が三つで、たく さんの泉である		三つの火による会 意。炎、火花、火の 輝き、火の盛んな さま、という意味	
牛		犬		田		白		目	
牛	ホン、ホン ひし(めく) ひしひし、 は(しる)	犬	ヒョウ つむじか ぜ、はし (る)	田	ライ ルイ	白	キョウ、 ギョウ、 ハク ヒャク、 しろい	目	ハク、 マク、モ
大勢の人が一か所に すきまなく集まる。 集まって騒ぎたて る。ぎしぎしと音が する。		かすめるような勢い で走るさま。つむじ 風。渦を巻きながら 吹きあげる風。		雷(かみなり)。 土を運ぶ道具。ふ ご。もっこ。土を 積み重ねた砦。石 を転がし落とす。		はっきりしている さま。また、まっ 白であるさま。ぱ んとたたく。		綺麗な目の意。 転じて綺麗なさま の意。まなざしが 深く、遠くを見る ことができる意	
直		石		羊		耳		舌	
直	チク チク なお(い)	石	ライ	羊	セン なまぐさ い	耳	ニョウ ジョウ ジョウ ささやく	舌	クウ、ゲ、 カン たはかる たはかる
なおい まっすぐに立つ そびえ立つ		石がごろごろしてい るさま。あけすけで しつこさのないさ ま。小さな事にこだ わらないさま。		なまぐさい。羊の 肉がなまぐさい。		ことばを口の中に含 んで小さな声で話 す。ひそひそとさ さやく。		言葉をひるがえす しゃべる。はなす。 あれこれと人の悪 口をいう。	
艸		虫		言		貝		車	
艸	キ、ケ くさ	虫	チュウ むし	言	トウ ドウ ヒュウ ジュ チュウ はやくち	貝	ヒ ヒイ	車	ゴウ とどろく
くさ(草) 卉の異体字		多くのうじむしを意 味していましたが、 転じて色々な動物を 表すようになりました。 また、虫の旧字		たくさんのことば を立て続けにしゃ べるさま		味方をする。 力添えをする。 大きい、力強いと いう意		ごろごろととどろ く音の形容。多く の車の往来する 音。地響きのする 大きな音の形容。	
金		隹		雷		風		飛	
金	キン、コン、 クン	隹	ソウ ソウ	雷	ヒョウ、 ビョウ、 ピン	風	キョウ、 ク、 ヒュウ	飛	ヒ フェイ
お金がいっぱいあ る。円形のはち。富 み栄える、繁盛する。		群がった鳥。むらが る。鳥が群れる。		雷の大きな音		強い風。驚いて逃 げる意。		ものすごく速く空 に向かって飛んで いくこと	
魚		馬		鹿		龍		平 平平 三平? 井 井井 三井?	
魚	セン	馬	ヒョウ ヒョウ はし(る) とどろく	鹿	ソ、ス、 あらい うとい	龍	トウ、ダ		
魚の肉が生で新し い。広く、鳥獣の肉 が新鮮であること。 小さな魚。ざこ。す くない。		多くの馬が走るさま		ばらばらになる。 間がすける。あらい。 うとい。きめが あらい。粗末であ る。		龍が飛び様子を表 す			

7曜日（日月火水木金土）漢字^{カレンダー}可憐だ～

English	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
甲骨文字							
一文字	日	月	火	水	木	金	土
理義字	𠄎	朋	炎	𣶒	林	鎡	圭
三疊字	晶	𠄎	焱	淼	森	鑫	垚
四文字	𠄎	𠄎	焱	淼	𣶒	鎡	垚

日がまた昇り、月が沈み、火が燃えて、水が流れ、木が伸びて、金が輝き、土が積まれる、7惑星と7曜日の日月火水木金土がくりかえされる。象形から始まり、次々と変化発展する。

■同じ漢字を並べた形の字は理義字■

「日」と「日」が2つ並んでケン・カンと読み、明らかなさまを意味する「昊」の異体字。

「月」が横に2つ並ぶと「朋」となりホウと読む。対等に肩を並べる友達の意味。

「火」を縦に並べれば「炎」横に並べるとカイ・エンと読み、火が燃え盛るさまを表す。

「水」を横に2つ並べた形の文字はスイと読み、二つの川が合流することである。

「木」を2つ並べると「林」だ。

「金」が2つだとヘンと読み、昔のシンバルの様な楽器の名前である。

「土」を縦に2つ重ねると「圭」で、天子が家臣などに与えた儀礼用の玉とか綺麗な意味。

■同じ漢字を3つ組み合わせた文字は「品字様」「三疊字」■

日を3つ組み合わせた文字「晶」はセイ・ショウと読み、澄んだ光、石や宝石の輝きの意。

月を3つ組み合わせた文字もセイ・ショウと読み、意味は汚れがなく澄み切った光だ。

火が3つだとエンと読み、燃え盛る火の意味。

水が3つだとゾウと読み、広々とした水を意味する。

木が3つで森という字になる。

金が3つの文字はキン・ワンと読みお金が一杯という意味だ。

土が3つだと土地が高いという意味である。

■同じ漢字の四つの漢字■

「日」を縦横2×2の形の文字 Unicord 番号 U+232AD に存在するが、読み方も意味も不明

「月」を4つ組合せた文字はロウと読み、「朗」の古字体で、曇りなく澄んで明るいの意味

「火」が4つだとイツ・イチと読み、火の燃え盛る様を表す。

「水」が4つだとバン・マンと読み、水が一杯という意味だ。

「木」が4つはジャングルと読む？ 木偏に森でサンと読む字があるそうだ。5つは森林

「金」が4つで、パオ・ユと読むが意味は不明。

「土」の品字様の下に土がつき、キと読んで土の意味する文字もある。

7曜の「日月火水木金土」の1～4個と並べると、

文字通りこんな漢字（感じ）の可憐だ～